

Webアプリケーション100%自動生成ツール「Web Performer」最新版を発売 HTML5とCSS3を活用し、Web画面のデザイン性、操作性がさらに向上

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神森 晶久、以下キヤノンITS）は、Webアプリケーション100%自動生成ツール「Web Performer（ウェブ パフォーマ）V1.5.0」を10月1日より発売開始します。

「Web Performer」は、開発現場の生産革新を目指し「短納期」、「高品質」、「低コスト」をコンセプトに2005年から発売開始し、大手、中堅を問わず、企業内の開発部門やSIベンダーなどさまざまな分野の開発現場で450社の導入実績を誇るWebアプリケーション100%自動生成ツールです。

■HTML5とCSS3を活用し、Webアプリケーションのデザイン性、操作性のさらなる向上を実現

「Web Performer V1.5.0」では、Web画面開発に用いられるHTML5とCSS3の技術を新たに採用しました。これにより、ドラッグ・アンド・ドロップ操作による添付ファイルの指定や、システムメニューの階層表示など、操作性や表現力に優れた画面開発が可能となり、システムを利用するエンドユーザーの、さらなる業務操作性の向上が望めます。また、自動生成できるWeb画面デザインのスタイルも刷新し、新たなスタイル(フォント・文字色・背景色)を20パターン追加しました。これらのスタイルをもとに、開発者は独自のWeb画面デザインをGUIエディタで作成することが可能となり、導入企業オリジナルのWeb画面デザインが簡単に実現できるようになります。



■アシスト社のBRMS(*)「Progress Corticon(プログレス コーティコン)」との連携強化

「Web Performer V1.5.0」のWebサービス連携機能を強化し、「Progress Corticon」で設定した語彙やビジネスルールをJavaのコーディングなしで取り込み、呼び出しが可能になりました。

キヤノンITSは今後も、「Web Performer」で適応できる開発市場を広め、自動生成ツールによる開発の市場拡大を図り、2017年までに40億円(導入支援、システム開発を含む)の開発を目指し、今後も市場の動向やビジネスの変化に対応した機能を追加していく予定です。*BRMS: ビジネスルール管理システム

製品名	価格(税別)	発売日	備考
Web Performer SE版	300万円～	2015年10月1日	実行環境はWindows/IBM i/RedHat環境に限定
Web Performer EE版	500万円～	2015年10月1日	-

- 報道関係者のお問い合わせ先 : 企画本部 経営企画部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
- 製品の詳細についてのお問い合わせ先 : SI サービス事業本部 ソリューション推進センター03-6741-9181
- Web Performer ホームページ : http://cs.canon-its.co.jp/product/web_performer

〈Web Performer V1.5.0 稼働環境〉

開発環境

推奨環境：[CPU] Core 2 Duo 2.13GHz 以上 [メモリ] 3.0GB 以上 [Disk] 空き容量3.0GB 以上

クライアント	OS	・Windows Vista/ Windows 7/ Windows 8/ Windows 8.1
	ツール (※1)	・Eclipse 4.2/4.3/4.4/4.5
	AP サーバ	・Tomcat 6.0/7.0/8.0
	Java (※2)	・JDK 6/7/8

本番環境

クライアント推奨環境：[CPU] Core 2 Duo 2.13GHz 以上 [メモリ] 3.0GB 以上

サーバ	OS	・Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2 ・AIX V6.1/V7.1 ・Solaris 10/11 ・RedHat EL5/6/7 ・IBM i V6R1/V7R1/V7R2 ・CentOS 5/6/7			
	データベース	・Oracle 11g/11g R2/12c R1 ・SQL Server 2005/2008/2008 R2/2012/2014 ・MySQL 5.6/5.7 ・PostgreSQL 9.3/9.4 ・DB2 v9.7/v10.1/v10.5 ・DB2 400 V6R1/V7R1/V7R2			
	AP サーバ (※2)	・WebSphere 7.0/8.0/8.5/8.5.5 ・Oracle Weblogic Server 11g 10.3.4以降/ 12C 12.1.1以降 ・Tomcat 6.0/7.0/8.0 ・Hitachi Application Server 10.0/10.1			
クライアント	アプリタイプ (※3)	PC		スマートデバイス	
	デバイスタイプ (※4※5)	PC		iPad	iPhone/iPad Android
	OS	・Windows Vista/Windows 7/ Windows 8/ Windows 8.1	・Mac OS X V10.7/V10.8/ V10.9/V10.10	・iOS 7/8	・iOS 7/8 ・Android 4.1/4.2/4.3/4.4
	ブラウザ (※6)	・Internet Explorer 7.0/8.0/9.0/10.0/11.0 ・Firefox ・Google Chrome	・Safari 6/7/8	・モバイル版 Safari ・モバイル版 Safari	・モバイル版 Chrome

※1 Eclipse の推奨バージョンは「4.4.2 以上」となります。

※2 JDK 8 に対応した Tomcat のリビジョンは、「8.0.1 以上」、「7.0.53 以上」、「6.0.40 以上」となります。

※3 PC とスマートデバイスを併用する場合、アプリタイプを分けてそれぞれ画面を作成してください。

※4 Adobe Flex オプションは、クライアント OS が「Windows」のみの対応です。

※5 ワークフローオプションのクライアント環境は、ワークフローオプション稼働環境をご確認ください。

※6 Web アプリケーションの HTML タイプが「HTML5」の場合は、Internet Explorer 7～9 は未対応です。

* Progress, Corticon は、Progress Software Corporation または、アメリカや他国の Progress Software Corporation 関連会社や支社の商標、もしくは登録商標です。

* Microsoft, Windows, Windows Vista, Internet Explorer, SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

* Mac, Safari, iPad, iPhone は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。